



デジタル庁 教育データ利活用

個人情報を生涯蓄積

ICT教育 批判学習会

市教委「ICTを活用した教育の推進」批判学習会を2月23日に行い、教職員や保護者など20人が参加しました。大阪教育文化センターの田中康寛さんの講演「GIGAスクール構想の本当のねらい」の内容を紹介いたします。

○大阪市の小中学校で導入されている「ダッシュボード」は出欠状況、「心の天気」、成績、健康状態、生活状況などを1枚の教師用ダッシュボードに表示。「全国モデル」で科学雑誌「ニュートン」にも掲載されている。

○2022年1月にデジタル庁、総務省、文科省、経産省が「教育データ利活用ロードマップ」を発表。学習履歴など個人の教育データを生涯にわたって蓄積・活用する工程が示されたが、SNSでは批判が殺到して「大炎上」した。

○「子どもに関する各種データの連携による支援実証事業」(デジタル庁)では教育・保健・福祉など子ども・家庭情報を分野横断的に連携・集約するデジタル基盤を整備。箕面市では「子ども成長見守りシステム」として、18歳までの子ども

の情報を蓄積システムがすでに導入されている。○政府は「デジタル田園都市国家構想」(予算5兆7千億円)を提案。「ゆりかごから墓場まで」「教育から生活、医療に至るまで」個人情報データを蓄積する「田園都市」を計画。個人情報保護法など4万種類の法律などの改正を検討している。

○そもそもICT教育の「教育効果」は検証されていない。(大阪府教ニユース12月号参照)○欧米では「プライバシー重視」が求められるようになりつつある。個人情報や「個人の尊厳」を守る取り組みを教育関係者・保護者・市民が広げることが大切

です。参加者からは「40人中23人がオンライン学習。担任1人でICT活用よりも学習環境が整っているのが大事」などの発言があり、教育現場の現状を交流しました。

か、はつきりわかって本心に嬉しくなって元気が出ました。子どもにとっても学校とは、「ワクワクドキドキ」するところであるべき。広い運動場で走りまわり、太陽の光を浴びて友達と遊んだり、ドキドキの席替えがあったり、遠足や社会見学…子ども達に見られる疲れやすさ等の「気になる」問題点は、学校に子ども達が来てくれればそれでクリアされる。「早寝早起き朝ごはん」はバロメータであり、スローガンは、「光、暗闇、外

遊び一です。太陽の光を浴びること外遊びは、学校でどんなやってあげられます。光を浴びて元気に仲間とじゃれて遊べば、早く眠たくなり早起きにつながります。そんな学校にワクワクドキドキが少しでもたくさんあれば…と考えると私もワクワクします。日々、うまくいかず、いい加減な自分を責めていたのですが、いいや！毎日、私自身が何か楽しいことをしようと思って元気が出ました。野井先生のススメ「良い加減」をぼちぼち探求していきます。(女性部)

コロナ禍 子どもの体、心 ワクワクドキドキの学校

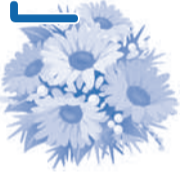
大教組21年度女性部・養護教員部合同教研が2月7日開かれ野井真吾日本体育大学教授が「コロナ禍で考えるー子どもからの心」を講演しました。

さすがー組合の学習会。コロナ禍が続き、今一番私たちが考えなくてはいけない、子どものからだの心のこと、貴重なデータをもとに目から鱗の話で聞くことができました。コロナ禍で学校の問題点が浮き彫りに。主役の子どもにとつて、学校とはこういうところであるべき

か、はつきりわかって本心に嬉しくなって元気が出ました。子どもにとっても学校とは、「ワクワクドキドキ」するところであるべき。広い運動場で走りまわり、太陽の光を浴びて友達と遊んだり、ドキドキの席替えがあったり、遠足や社会見学…子ども達に見られる疲れやすさ等の「気になる」問題点は、学校に子ども達が来てくれればそれでクリアされる。「早寝早起き朝ごはん」はバロメータであり、スローガンは、「光、暗闇、外

遊び一です。太陽の光を浴びること外遊びは、学校でどんなやってあげられます。光を浴びて元気に仲間とじゃれて遊べば、早く眠たくなり早起きにつながります。そんな学校にワクワクドキドキが少しでもたくさんあれば…と考えると私もワクワクします。日々、うまくいかず、いい加減な自分を責めていたのですが、いいや！毎日、私自身が何か楽しいことをしようと思って元気が出ました。野井先生のススメ「良い加減」をぼちぼち探求していきます。(女性部)

「個人として尊重」 ガーベラだより 3月



青年教職員が集まり2月18日、「憲法学習会を行いました。私たち教職員は、教育委員会が出してきた文書や行政のトップが現場の実態もつかまずにメディアを通して初めて知る内容など、様々な情

報に振り回され、さらに多忙にさせられていること、忙しいなかでい

るのではないのでしょうか。一度学んだことも忘れていたり、学びなおしたりしながら聞いていた「中高で学んだはずなのにほとんど覚えていない」「なにも知らずに教科書通り

活用した学習を紹介。保護者としてはICT活用よりも学習環境が整っているのが大事」などの発言があり、教育現場の現状を交流しました。

か、はつきりわかって本心に嬉しくなって元気が出ました。子どもにとっても学校とは、「ワクワクドキドキ」するところであるべき。広い運動場で走りまわり、太陽の光を浴びて友達と遊んだり、ドキドキの席替えがあったり、遠足や社会見学…子ども達に見られる疲れやすさ等の「気になる」問題点は、学校に子ども達が来てくれればそれでクリアされる。「早寝早起き朝ごはん」はバロメータであり、スローガンは、「光、暗闇、外

遊び一です。太陽の光を浴びること外遊びは、学校でどんなやってあげられます。光を浴びて元気に仲間とじゃれて遊べば、早く眠たくなり早起きにつながります。そんな学校にワクワクドキドキが少しでもたくさんあれば…と考えると私もワクワクします。日々、うまくいかず、いい加減な自分を責めていたのですが、いいや！毎日、私自身が何か楽しいことをしようと思って元気が出ました。野井先生のススメ「良い加減」をぼちぼち探求していきます。(女性部)

めていたのですが、いいや！毎日、私自身が何か楽しいことをしようと思って元気が出ました。野井先生のススメ「良い加減」をぼちぼち探求していきます。(女性部)

めていたのですが、いいや！毎日、私自身が何か楽しいことをしようと思って元気が出ました。野井先生のススメ「良い加減」をぼちぼち探求していきます。(女性部)

めていたのですが、いいや！毎日、私自身が何か楽しいことをしようと思って元気が出ました。野井先生のススメ「良い加減」をぼちぼち探求していきます。(女性部)

ケア労働賃上げ 直ちに実現を

市労組連は2月15日、「ケア労働者の処遇改善を求める要請書」を提出しました。社会的に要請されている「保育・学童保育・社会的養護・介護・医療従事者」、いわゆるケア労働者の処遇改善について、国の経済対策に基づき対応を行うよう申し入れたものです。

内閣府子ども・子育て本部は昨年末、「保育士や幼稚園教諭を対象に、賃上げ効果が継続されるよ

う取組を行うことを前提として、収入を3%程度(月額9千円)引き上げるための措置を、令和4年2月から実施する」と通知しました。直ちに実現すべきです。独自給料表で引き下げた大阪市の保育士・幼稚園教員給料表の抜本改善、会計年度任用職員、社会的養護従事者、民間保育各施設や、学童保育、介護事業所、社会的養護、医療従事者の賃金改善についても求めました。

中止を求める多数の世論を無視したまま、政府は東京五輪を強行。医療崩壊が起こっている中で五輪開催は、スポーツと政治やメディア、スポンサー企業の問題を浮き彫りにすることも、大会

国旗掲揚、国歌斉唱、聖火リレーなど、人種・民族・国家を強く意識した儀式を導入したヒトラーのベルリン大会。ナチスのプロパガンダとして大成功し



えてもらいました。働く人にとつて大切なことなのにきちんと教えてもらうことはほぼありません。管理職ですらきちんと理解していないこともあります。おかしいですね。ぜひ組合と一緒にわたしたちの権利を学んで、一緒に守っていきましょう。

来年度春、4月2日13時30分先輩のワザ伝授連続講座、23日13時30分くしんかんフェスタを開催します！たくさんのご参加お待ちしております！

た。ナショナリズムと切り離せないもの。新自由主義の都市の再開発やリゾート開発が進められている。五輪契約は国内法を上回る。ソチ五輪で保護林が伐採された。明治公園周辺の建物の高さ制限条例が改正されたが、今後、五輪施設を作るかに超える高層ホテルが建設される。膨れ上がる費用、巨大イベントは利権の巢、原発事故隠しの「復興五輪」、ジェンダー問題、「優生思想」、開発主義、アスリートの権利・健康被害、永遠の拡大志向・「持続不可能性」など様々な指摘されている。国際反五輪運動も盛り上がっている。

コロナ禍の五輪 2・11集い 開発主義 ナショナリズム

第56回「建国記念の日」不承認大阪府民のつどいが2月11日開かれ、井谷聡子関西大学文学部准教授が「コロナ禍のオリンピックが問いかけるものー政治・資本・ジェンダー」と題し講演しました。

近代オリンピックは、その初期には万国博覧会の一部として開催されたが、その内実は非常に植民地主義的であり人種差別的。多人種による競争は、人種の優劣を見定めるものであり、クーベルタン伯爵は、五輪を通じてアフリカを文明化させるという意図を明確に書き残している。

国旗掲揚、国歌斉唱、聖火リレーなど、人種・民族・国家を強く意識した儀式を導入したヒトラーのベルリン大会。ナチスのプロパガンダとして大成功し

たんぽぽだより 3月

青年フェスタを2月13日オンラインで開催。120人の参加者が集まりました。

算数講座では、コロナ禍で授業時間が少ない中でも大切にしたい学習内容やつまずきやすいポイント、具

体的な支援の工夫などを学ぶことができました。教材・教員などを知りたい方はぜひ、「さんすうしい!!」で検索してみてください。全体会では、「意外と知らない！賃金・権利・福利厚生」を教

えてもらいました。働く人にとつて大切なことなのにきちんと教えてもらうことはほぼありません。管理職ですらきちんと理解していないこともあります。おかしいですね。ぜひ組合と一緒にわたしたちの権利を学んで、一緒に守っていきましょう。

来年度春、4月2日13時30分先輩のワザ伝授連続講座、23日13時30分くしんかんフェスタを開催します！たくさんのご参加お待ちしております！